

# 香川県感染症週報

2018年第39号(5/Oct/2018発行)

Infectious Disease Weekly Report Kagawa

Reported by Infectious Disease Information Center Kagawa

## ◆ 2018年第39週(9/24~9/30)の感染症発生動向(届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核(小豆1件、中讃1件、西讃1件)
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症(東讃1件)
- 4類感染症 日本紅斑熱(高松1件)
- 5類感染症 百日咳(高松3件、中讃2件、西讃5件)

感染症予防の基本は **手洗い** から  
調理時や食事の前、トイレの後は石けんと流水  
でしっかり手を洗いましょう。



### ■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- RSウイルス感染症の報告が続いています。咳エチケットや石けんと流水による手洗いをこころがけましょう。
- 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告が続いています。引き続き注意をお願いします。
- ヘルパンギーナ、手足口病の報告が続いています。手洗いやうがい、十分な水分と栄養の補給を心がけましょう。タオルやコップの共有は避けましょう。

2018年第39週の感染症発生動向調査による報告患者総数は366人で、前週(476人)の76.9%となった。

1. RSウイルス感染症の報告は、県全体(5.6→3.5)で減少している。
2. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(3.1→3.1)で横ばいで推移している。
3. ヘルパンギーナの報告は、県全体(3.3→2.3)で減少している。西讃地区(7.5→8.5)では、定点当たりの警報レベル(6.0)を超えている。
4. 手足口病の報告は、県全体(2.0→1.8)で減少している。
5. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(1.2→1.1)で減少している。

## ◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① RSウイルス感染症	3.5人	5.6人	62.8%	4.2人	1.1人	○↘	○↘	○↘	○↘	○↘	○↓
② 感染性胃腸炎(ウイルス)	3.1人	3.1人	97.7%	4.1人	2.9人	○→	○↗	○↗	○↗	○↘	○↘
③ ヘルパンギーナ	2.3人	3.3人	69.6%	2.4人	0.5人	○↘	○↘	○↘	△↘	○↘	◎↘
④ 手足口病	1.8人	2.0人	87.5%	1.3人	0.8人	○↘	○↘	○→	△↘	○↗	△↗
⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.1人	1.2人	90.9%	1.0人	0.7人	○↘	○↘	・	△↗	○↗	△→

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し  
前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

## ◆ 病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
なし						

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
Respiratory syncytial virus	咽頭	2018/9/13	東讃	RSウイルス感染症	遺伝子検査	
Respiratory syncytial virus	咽頭	2018/9/18	東讃	RSウイルス感染症	遺伝子検査	
Rhinovirus	咽頭	2018/9/19	東讃	RSウイルス感染症	遺伝子検査	
Respiratory syncytial virus	咽頭	2018/9/19	東讃	RSウイルス感染症	遺伝子検査	
Rhinovirus	咽頭	2018/9/19	西讃	下気道炎	遺伝子検査	
Respiratory syncytial virus	咽頭	2018/9/20	東讃	RSウイルス感染症	遺伝子検査	
Respiratory syncytial virus	咽頭	2018/9/21	東讃	下気道炎	遺伝子検査	

## ◆ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症 耐性遺伝子検出情報

菌種名	検体	検体採取日	地区	臨床診断(症状)	耐性遺伝子	備考
<i>Enterobacter cloacae</i>	血液	2018/9/17	高松市	慢性心不全、 敗血症、臍嚢胞	EBC型	

気象週報 第39週の平均気温: 21.4℃(過去の30年の平均気温: 22.0℃) 平均湿度: 79.3%

